

■市長 「私たちのまちは現実に暮らしやすいのだろうか」と考えるのがまちづくりの原点。率直に皆さんは今の花巻をどう思いますか？

■松葉 孝博さん 市内に空港や高速道路、新幹線の駅もある。交通アクセスが整っているのです、すこ

「花巻」を率直に思う



高橋 政紀さん

■高橋 政紀さん 私も全国を転々とし、花巻に帰ってきた。帰って来れば、やはりここには自然があり安心する。外に出て見て花巻が良いと感じた。自宅は自然に囲まれ、子どもがおたまじゃくしを捕りに行ったりするのを見ると、こういう環境がやっぱりいいなと思う。「外から見ると」いうことが大事だし、このような環境を修学旅行生に味わわせて「花巻っていいな」と思わせるのも大事。

子育て世代のひとりで思う

■市長 子育てをする上で、子どもの遊び場がほしいという意見があった。市内に公園は結構あると



思うがどうでしょうか。

■平賀 志麻さん 偏りがあるように思う。ことは特にクマが出て、なかなか自然の中で遊ばせられない。私たちが子どもころは、川遊びなどからいろいろな自然の仕組みを学んだ。少しくらいけがをしても、いろいろなことを自然の中で身に付けていた。今はそのような場がない。田んぼにもいろいろな魅力があつて、カエルを捕ったり、ザリガニを触ってみたり。親の立場では、周りの人たちへの迷惑は考慮するが、もう少し自然の中でも遊ばせたいと思う。遊具も、事故があるたびに撤去されていく。もう少し伸び伸びさせたい。

■市長 市では、これから大人になる中学2年生から率直に、将来何になりたいかなどを聞いてい

る。一方で今の花巻の産業を見比べて何が不足しているか調査している。ただ、花巻で事業が成り立つかとなると別次元の話だが、できるだけ可能性のあるものは産業としての職場を作っていきたい。皆さん自身はなぜ花巻に住んでいるのかを考えたことはありますか？いろいろなスキルを持って、それを生かせる仕事に就けるとい

う立場を与えられ、でも首都圏でしかその仕事がないとしたら、そこ

くいいところだと思う。東和は空港や駅から30分も走らずに田舎に行けるまちということで、Uターンやインターンで住んでいる人も結構いる。あまり不便さを感じておらず、十分じゃないかと思う。

■高橋 政紀さん 正直言ってい

ンバクトはない。「どこから来たの？その方言、東北でしょ」と聞かれ、「花巻」と答えても、花巻東しか出てこない。宮沢賢治のまちというイメージも少ない。

■平賀 志麻さん 私は花巻に帰

ってきたときの田舎感も好きだが、駅前が寂しいと思う。盛岡駅は在来線も新幹線も一緒になっていて、そこに買い物できる楽しい場所がありすごくいいと思う。花巻駅に降りたときにホッとするのもすごく好きだが、ホッとする半面寂しい。駅からのアクセスも充実していればいいと思う。



平賀 志麻さん

■新淵 伸彦さん 太田地区でもバスがない。中部病院への乗り合

ちらに行こうとは思いませんか？

■新淵 伸彦さん 思わない。農業は自然と一緒に働くというのがすごくいい。その魅力を伝えたいから、グリーン・ツーリズムで修学旅行生の受け入れもしている。挑戦したいと思う子どもたちが花巻に目を向けてくれるかもしれない。その種を今から蒔くというの



新淵 伸彦さん

■後藤 明美さん 考えたことがなかった。高校に来る求人を見て就職した。夢を持つことは大事で、早いうちに夢を見つければそれに向か

っていくと思うが、その夢を持つ前に、どんな仕事があるかを子どもたちが知らない。いろいろな情報を若い子たちに教えてあげれば、夢を持ちながら前に進んでいけると

■伊藤 充さん 病院の待ち時間も長い。例えば予約制にするとかできないもの



伊藤 充さん

■新淵 伸彦さん クマが出るので、子どもたちが学校に自転車で

親が送迎している。

■高橋 要さん 働く世代の人口がもっと多ければと思う。商売は人がいないと成り立たないし、競争も生まれ

鍵だと思

山梨には、通勤せざるインターネットの仕事をする人が多く住む集落がある。首都圏へのアクセスの良さとネット環境の充実と聞く。花巻でも、家庭菜園しながらネット

■平賀 志麻さん 私は花巻生まれの花巻育ちだが、一度外の体験

をしてみたらという助言があつて、宮城県に出た。便利ですごく良かったが、就職先を選ぶときに、緑が多くて空気がきれいで水がおいしい花巻に戻ろうと迷わず決めた。やはり花巻がいい。自分が育ったところで子育てをしたいという思いが強かった。

何でも親が決めてしまうのではなく、子どもにいろいろな経験や知識を持たせたい。学校での職場体験はいい機会だと思う。

■市長 昨年度から「はなまき産業大博覧会」を開催している。花巻市民に市内の産業や仕事の種類、仕事の

一方で、市外へ出たければ出た方がいいとも思っている。そうすると花巻の良さが分かる。そういう人づくりの環境をつくること

■市長 花巻市も大きな視野からの全市の姿を描いている。地形や歴史などの特色を活かしながらのメリハリは必要だと思

その中で花巻市が力を入れてきたのは交流人口の増加。日本全体の人口が減少し内需が縮小に向かう中、一時的にでも花巻へ来て消費してもら

今日、相手を認めることが大事だという話もあつた。人は認めてもら

なる意見がたくさんあり有意義なものとなった。ありがとうございます。